



2019年3月期第1四半期 決算説明会

2018年8月1日

カシオ計算機株式会社

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2019年3月期 第1四半期連結決算概況

1

単位:億円

連結	'17/1Q 実績	'18/1Q 実績	前年比
売上高	698	668	96%
営業利益	66	66	101%
利益率	9.4%	9.9%	
経常利益	58	61	105%
当期純利益	42	48	115%
1株利益(円)	16.97	19.54	

セグメント別実績 売上・営業利益

単位:億円

連結		'17/1Q 実績	'18/1Q 実績	前年比
売上高	コンシューマ	598	571	96%
	システム	82	81	98%
	その他	18	16	91%
	合計	698	668	96%
営業利益	コンシューマ	79	90	113%
	システム	0	▲4	-
	その他	1	0	-
	調整額	▲14	▲20	-
	合計	66	66	101%

- 売上高は対前年減収30億円
(前年デジタルカメラの売上40億円)

- 営業利益は対前年比微増益で上期計画比44%の進捗(前年並)
経常利益は5%の増益、当期純利益は15%の増益

- 課題事業の赤字改善
 - ・ デジタルカメラ: ▲2億円、2Q以降は損益ゼロ
 - ・ 楽器: ▲5億円、通期で収支均衡

- 調整額は上期計画比56%の進捗
(新規事業等の開発に向けた費用を投入)

事業別概況

時計事業

■売上：373億円（前年比4%増収）、利益率：22%

1Q発売の新製品は軒並み好調、新製品効果は2Qから本格寄与

- ①G-SHOCK初号機(5000シリーズ)初のフルメタル
②G-SHOCK MTG-B1000(新たな耐衝撃構造)
③OCEANUS 日本の伝統技法江戸切子モデル



【地域別概況】

- 国内：新製品が好調。実販に手応えあり、対前年比プラス転換
- 中国：ネット販売の好調持続
- 新興国：偽物対策、新製品(ダイヤモンドモデル)によりノンブランド製品の販売回復
- 北米：主力百貨店の実販が回復基調だが前年並
2Qに日本で好調な新製品を本格展開
- 欧州：ジュエラーの実販不振により厳しい状況継続
2Q以降、G-SHOCKの若者需要喚起に向けた新プロモーション展開

教育事業

■売上:198億円(前年比3%増収)、利益率:7%

<電卓:60%> 海外での学校向け関数電卓が牽引、前年比6%増収、利益率17%

<辞書:20%> 前年比12%減収(前期は特需有)、収支均衡
2Qで大手流通向け導入により挽回の計画

<楽器:20%> 欧州、新興国等の好調により前年比3%増収、赤字5億円
2Q以降 Aix音源搭載キーボード拡充による本格展開実施

システム事業

	<売上構成>	<損益>
■その他システム	: 約7割	収支均衡(前年比▲3億円)
■プロジェクター	: 約3割	▲4億円(前年比▲1億円)

・BtoB事業の季節要因もあり上期累計では黒字化

2019年3月期 計画

6
単位: 億円

連結	'18/2Q 計画	前年比	'18/上期 計画	前年比	'18/通期 計画	前年比
売上高	932	111%	1,600	104%	3,400	108%
営業利益	84	104%	150	103%	350	118%
利益率	9.0%		9.4%		10.3%	
経常利益	79	101%	140	103%	330	115%
当期純利益	52	90%	100	100.5%	230	118%
1株利益(円)	21.06		40.60		93.37	

セグメント別売上・営業利益

単位：億円

7

連結		'18/2Q 計画	前年比	'18/上期 計画	前年比	'18/通期 計画	前年比
売上高	コンシューマ	784	111%	1,355	104%	2,895	108%
	システム	124	115%	205	108%	425	111%
	その他	24	115%	40	104%	80	105%
	合計	932	111%	1,600	104%	3,400	108%

営業利益	コンシューマ	90	101%	180	106%	410	117%
	システム	9	167%	5	97%	10	172%
	その他	0	-	0	-	0	-
	調整額	▲15	-	▲35	-	▲70	-
	合計	84	104%	150	103%	350	118%

今後の事業戦略

8

時計

G-SHOCKを主軸とした強いビジネスモデルによる
事業拡大の加速

関数電卓

- ・GAKUHAN新市場開拓と偽物駆逐
- ・ソフトウェアビジネス(電子教育ビジネス)の展開強化

電子辞書 英会話学習ツール

- ・学生に向けた事業モデルの継続拡大、海外展開強化
- ・学習目的に最適化した新しいジャンルの確立

楽器

- ・構造改革による収益性改善(自社生産体制強化/ラインアップ効率化/新音源開発/費用構造見直し/流通再構築)

プロジェクター

強みを生かせる市場(教育等)への経営資源集中による
収益体質改善

システム事業 (PA/SA)

- ・独自の強いハード開発と新たな用途開発(PA)
- ・中小個人事業主の経営に役立つソリューション強化(SA)

新規事業

- ・2.5Dプリントシステム:今期より売上/収益に貢献
- ・新規商品/新規事業を次々と創出し続ける

時計事業

■ 独自市場を確立しているG-SHOCKの強みを維持強化

- ・『5000』シリーズ、MT-G、G-STEELを中心にメタルモデル拡充
- ・若年層向け定番モデルの大幅拡大
- ・普及価格帯Bluetoothモデルの新製品投入



■ 独自の強いエンジンでカシオならではのメタルアナログを追求

- ・Bluetoothモデルの拡充
- ・強いエンジンを進化させた新モジュール開発(高機能、超薄型ムーブメント)
- ・G-FACTORYの活用、メタルGとの相乗効果



■ ノンブランドの新製品投入、高品質訴求による拡大

- ・ダイヤモンドモデルの新規投入
- ・高品質の訴求による偽物駆逐



■ PRO TREK Smart: Android Wear WristのNo.1を目指す

- ・アプリベンダー9社とパートナー契約、スマートウォッチのデファクトスタンダード獲得
- ・BtoB商談推進



関数電卓

■ GAKUHAN新市場開拓 と 偽物駆逐強化

- ・安定した学生市場で每期継続的に売上確保できるビジネスモデル
- ・国別専用機拡大など新規展開国の拡大
- ・偽物駆逐に向けた新製品投入予定



■ ソフトウェアビジネス(電子教育ビジネス)の展開強化

- ・ハード中心からソフトウェアビジネスも対応へ
- ・関数計算／グラフ描画のWebサービスを開始

電子教科書出版社やCBT事業者向けに『ClassPad.net Engine』を開発

教科書やCBTの式やグラフに組み込める計算/グラフ描写ツール、
設問への解答の自動採点ツール機能を搭載

⇒ 米国の教科書出版会社 Kendall Hunt Publishing に導入決定



電子辞書

■国内市場に加え、海外市場でのさらなる強化

- ・シニア向け拡大(新製品発売)
- ・中国学販辞書市場の開拓拡大
- ・重点校、欧米への留学生向け用途での展開強化・拡大



英会話学習ツール

■学習目的に最適化した専用機の追求＋新しい需要創造

- ・法人向け学習カリキュラム提案(BtoB商談推進)
- ・おもてなし英語力を磨く英語対応能力検定試験事業の拡大



楽器

■ 構造改革による収益性改善(今下期に完了)

- ・流通の再構築等(流通数の削減)
- ・新音源モデル(Aix音源搭載)による収益性の改善
- ・モデル数の削減(キーボードラインアップ効率化の推進)
⇒ 60モデル(17/3)→40モデル(18/3)→30モデル(19/3目標)
- ・サプライチェーン効率化による原価低減(費用構造改革)



■ 潜在的成長市場への積極的アプローチ

- ・新たな市場にむけての商品企画推進中
(情操教育向け、デジタルホーン、EGP等)

DPJ

■【市場】教育市場にフォーカスした事業戦略へのシフト

- ・教育市場向けの「商品＋ソリューション」の開発強化
- ・GAKUHAN営業/ネットワークと連携した営業展開強化



■【技術】独自技術の強み追究(小型化・モジュール化)

- ・小型 & 省電力技術の追究による新規領域への展開強化

PA

■独自の強いハードウェア追究

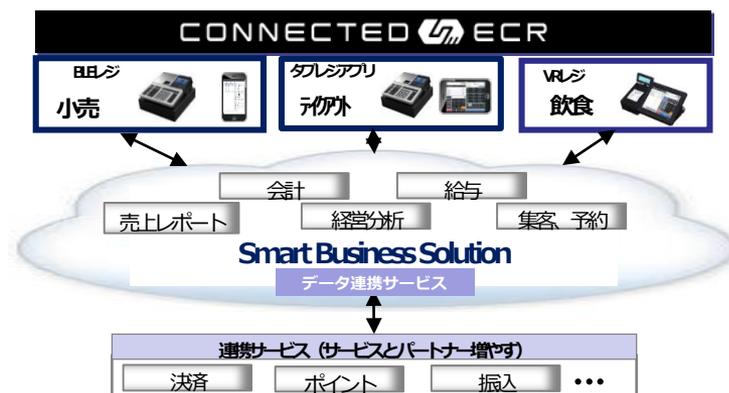
- ・独自の強いハード開発と新たな用途開発
- ・選択と集中のさらなる推進(業種の絞り込み)



SA

■中小個人事業主の経営に役立つソリューションビジネス強化

- ・ハード+クラウドサービス拡大による課金ビジネス強化
- ・業種別共通アプリ構築による効率化



2.5Dプリントシステム

■新たな事業の柱として早期売上拡大、収益貢献

■世界に向けて事業規模拡大

- ・プリントシステムとデジタルシートのソリューション展開による事業大幅拡大
- ・デジタルシートのさらなる開発促進
- ・代理店を活用し販売網の大増強

■業種別ビジネスモデルに対応した用途提案

■導入企業例

- ・株式会社デンソー様(車の内装)
- ・シンコー株式会社様(家具の布、皮)
- ・パナソニック株式会社様(住宅の内外装建材等)



ダーモスコピー画像診断システム

医療用デジタルカメラ事業に参入

■ 画像診断システム(皮膚がん等の画像診断)の開発

- ・デジタルカメラで培った技術と画像自動判別技術を活用
- ・大学病院医師の知見やノウハウを採用
- ・AIを使ったディープラーニングを駆使し診断精度を向上

■ 皮膚疾患の自動判別コンテストで世界1位を獲得

- ・皮膚疾患の自動判別に関する国際コンテスト「ISBIチャレンジ2017」で1位を獲得

■ 専用のカメラ、ソフト、クラウドサービスを提供予定

- ・国内の皮膚科(1.4万人)、形成外科(3万人)がターゲット

■ 19年3月末を目処に事業開始予定



<試作品>

為替影響について

為替感応度

(主要通貨)

米ドル
ユーロ
人民元

為替前提

(2018年7月~2019年3月)

105円
128円
16.3円

1円変動による影響額(年間)

売上高	営業利益
10億円	— (※1)
3.5億円	2.5億円
18億円	12億円

※1 ドル円は輸出・輸入がほぼ均衡しており影響軽微

為替レート実績

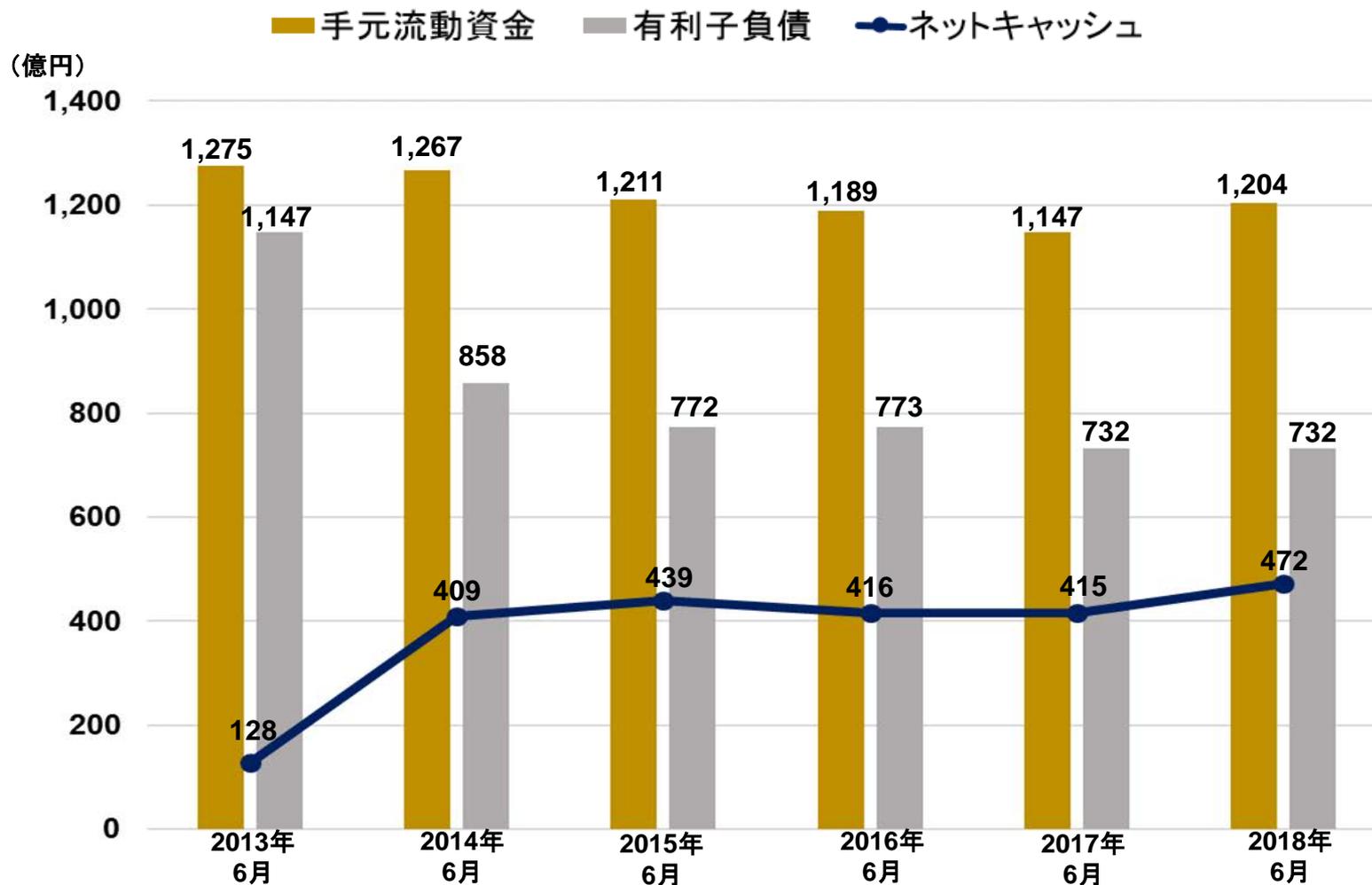
(前年差)

米ドル
ユーロ
人民元

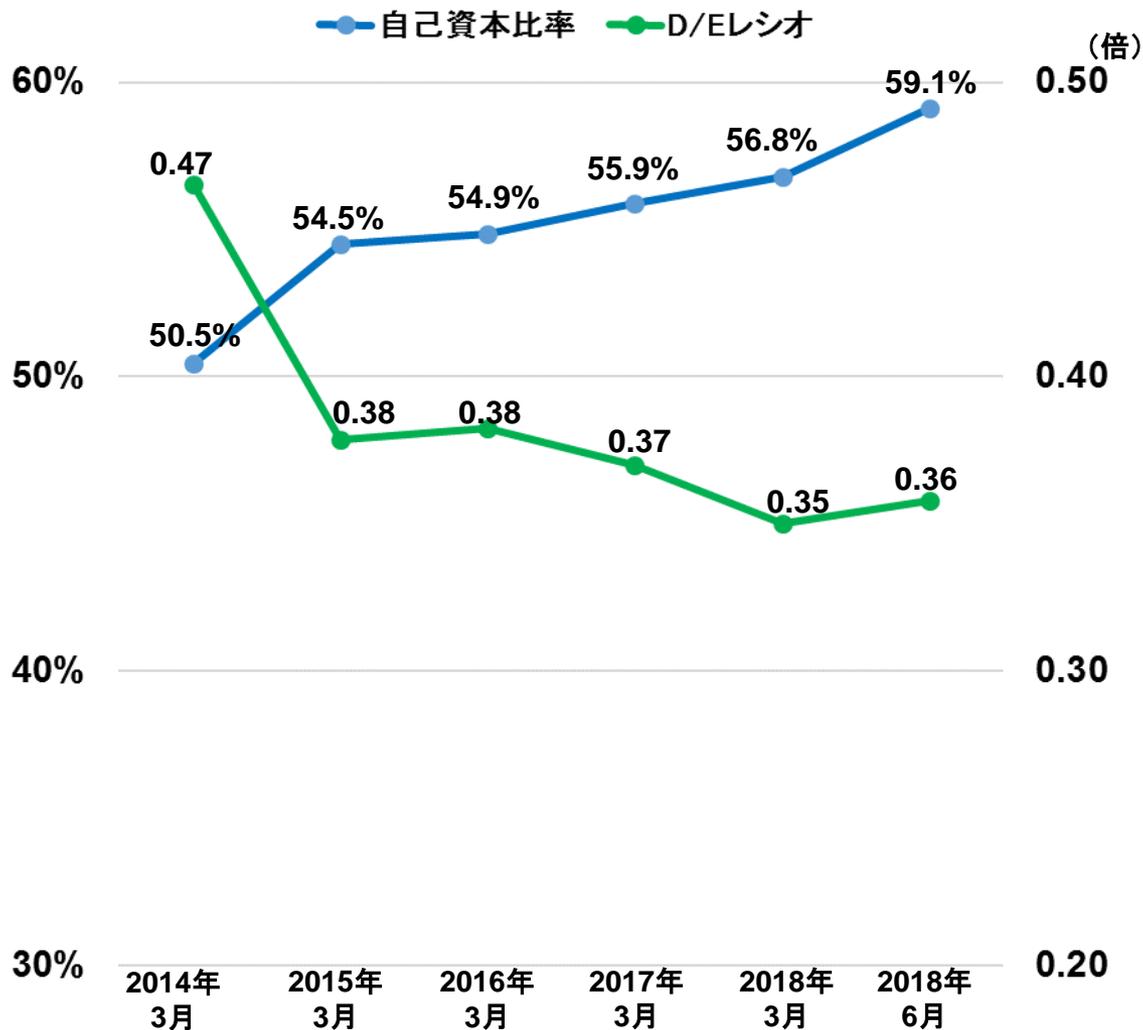
第1四半期

109.1円 (-2.0円)
130.1円 (+7.9円)
17.1円 (+0.9円)

■手元流動資金・有利子負債・ネットキャッシュ(第1四半期対比)



■自己資本比率・D/Eレシオ



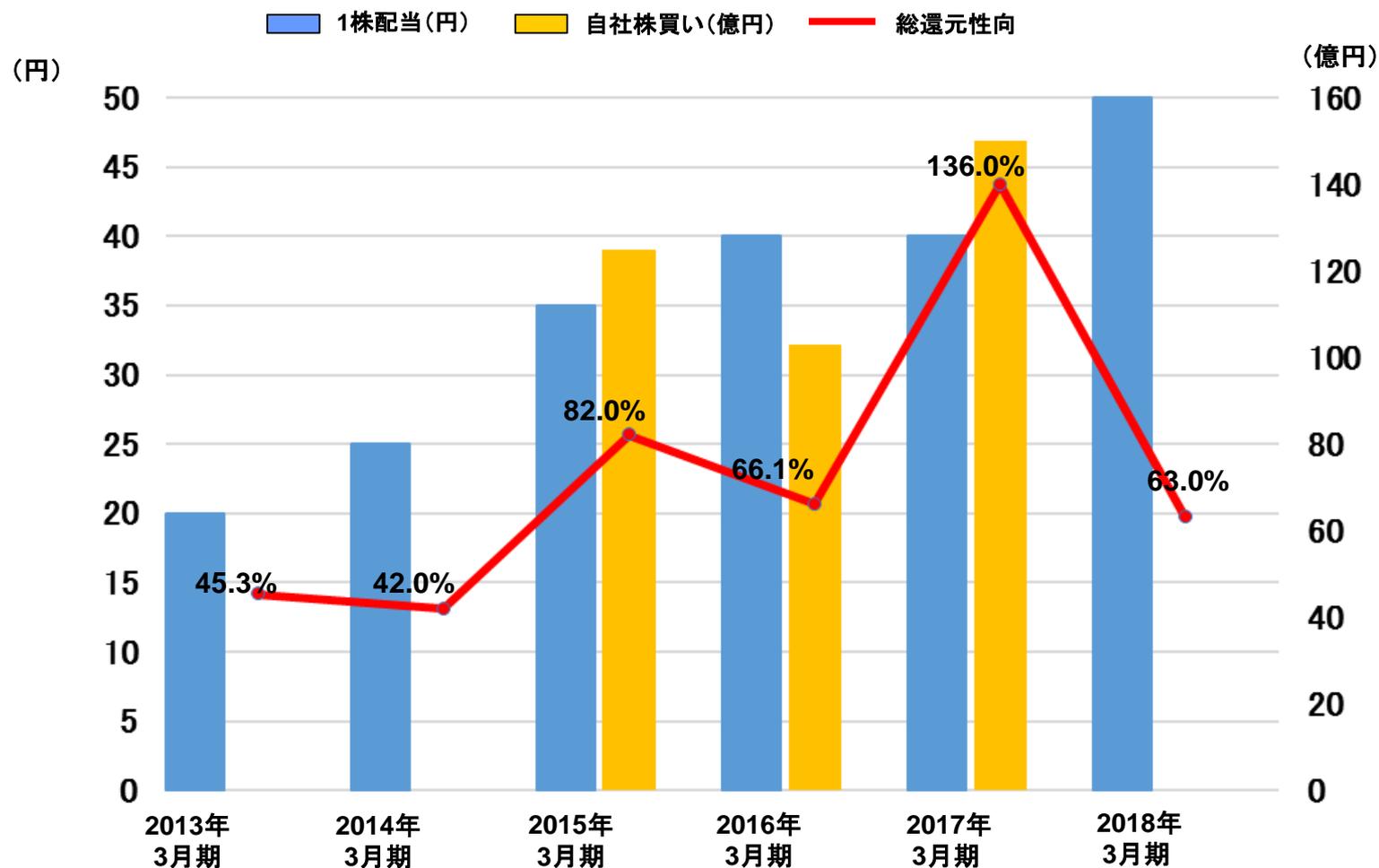
■年金財政

・年金財政は積立超過(財政健全化)を維持

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月
年金資産	714億円	653億円	693億円	684億円
退職給付債務(A)	585億円	576億円	567億円	557億円
積立超過額(B)	+129億円	+78億円	+126億円	+127億円
超過割合(B÷A)	+22%	+14%	+22%	+23%
電機・精密29社平均	▲24%	▲30%	▲27%	▲26%

株主還元

■ 1株配当・自社株買い・総還元性向



END